

## 第76号

## し ら さ ぎ



施設長 藤村友弘

新年明けましておめでとうございます。皆様が良いお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年三月末、二十数年の間園長としてご尽力をいただきました金子前園長が退任され、その後を私が引き受けましたが、あゆみが丘学園に対しまして引き続き絶大なご支援とご協力を頂いていますことに対し厚くお礼申し上げます。

昨年の九月に新政権が発足し自立支援法を廃止し新たに「障がい者総合福祉法」の制定が打ち出されました。先ず、応益負担を廃止し応益負担にする方向に進んでいます。予算に載るかどうかせめぎ合っているようです。このように、はつきりとした状況では、進むべき道が決めづらく、進んでいく場所がありますが、動向を良く見極めながら前向きに進んでいかなければいけないと思っています。

障害者権利条約が二〇〇八年五月に発効され「人としてあたりまえの権利と自由を、障害のある人もない人も平等にもつことができ、障害者が社会の一員として尊厳を持って生活できるようにすること」を目的としています。日本国政府は、まだ、批准（我が国はこの条約に加入します。責任をもって、条約に書かれてあることの実現に努めます）していません。障害者基本法・障害者自立支援法・知的障害者福祉法・身体障害者福祉法・精神保健福祉法等々の見直しはありますが、その時に慌てることのないように普段からサービスの質の向上と、安心・安全に暮らせる様にならなければならないと思っています。

ないと思っています。

平成十九年の四月から四肢の機能低下を防ぎ、可動域を広げられるように、丹後中央病院の理学療法士・作業療法士の方に来園して頂いています。最近、月四回、毎週土曜日に三名～四名程の入所者の方のリハビリ訓練を実施して頂きそれを元に作業時間等を利用して継続した訓練が行えるように取り組んでおります。高齢化する中においてはこのような取り組みも必要不可欠ですが、又、社会自立に向けての幅広い支援も必要であるので、職員一人一人が自覚し全力で取り組み支援していかねばならないと思っています。

本年も旧年に倍して、あゆみが丘学園に對しましてご理解とご協力、加えてご指導、ご鞭撻を切にお願い致します。



# このやしまをぶねとして

作業指導員 牧野 武範

今年度の学園祭も一昨年、昨年と同様に、入所者、保護者、職員のみで開催となり、担当としては、盛大な学園祭が行えることを願っていましたが、現在世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルスの影響では致し方ありません。気持ちを切り替え、十月より学園祭の準備に取り掛かってきました。今年度の学園祭は、よさこい、散歩、模擬店の三グループに分かれ、準備を進めてきました。特によさこいグループでは、例年以上の力の入れよう、難易度の高い踊りを必死に練習されていきました。昨年までは自分達で作ったよさこいの衣装でしたが、今年は保護者会よりよさこいの衣装を購入していただき、非常に感謝しております。月日は流れ、二十八日の夜、職員二人目の感染が確認され、二十九日の午前開催の中止を決定し、今年度の学園祭は残念ながら中止となりました。しかし、今まで一ヶ月間準備を進めてきたということもあり、食事だけでも行おうかという事になり、入所者、職員のみでの食事会と名前を変え実施しました。いつもなら食堂で食事を取りますが、駐車場にテントを張り各ホームで秋晴れの下、いつもとは違った雰囲気の中、おいしく食事を取ることが出来ました。そして、三時のおやつは、外部の方にお願ひしていた「たいやきを食べ、あつ」という間に食事会はフィナーレを迎えることとなりました。

最後になりましたが、おいしいばら寿司を朝早くから作っていただいた厨房の職員さん、有

難うございました。そして、一生懸命よさこいの練習を頑張っていた入所者の方、出し物を予定していた職員の方、残念ながら今回は披露できませんでしたが、クリスマス会で披露していただけという事で、中止になった悔しさを爆発させていただいて、盛大なクリスマス会になる事を願っています。

## 新型コロナウイルスについて

指導主任 上羽 行直

新型コロナウイルスが全国的に猛威を振るい、当学園もその脅威に曝されている今日この頃です。学園では一昨年の感染性胃腸炎、昨年、二月前半から二月後半に掛ける季節性インフルエンザが大流行し、その対応に目も回る思いを経験しました。その体験及び保健所からの情報提供により学園として出来る範囲の新型コロナウイルス予防策、対応策をその都度検討し、マニュアルを作成しました。

新型コロナウイルスが広がりを見せると、第一に入所者に感染させないという観点からまず、極力、外出を控えてもらっています。外出することが好きな入所者が多いだけにストレスが貯まっているかも知れません。申し訳ないと思いつつ来ても考えられないため職員には、①朝熱があれば出勤しない、②病院に受診し、指示を受けるようにしています。又、保護者の皆さんにも迷惑を掛けていますが、面談や外出、外泊時はその応接を玄関先に限定させてもらっています。行事的にも中止になったり、部外の方を呼ばずに学園の者のみで行う行事になりました。

## お知らせ

- 《入所者》
- 白井裕さんが3月4日入所されました。
- 永井健一さんが3月6日入所されました。
- 砂原美也子さんが10月15日入所されました。
- 《退所者》
- 佐田野正子さんが1月10日をもって退所されました。
- 堀江清さんが8月31日をもって退所されました。
- 宇野安さんが9月16日をもって退所されました。
- 《退職者》
- 前園長の金子寿幸さんが3月末日をもって退職されました。
- 伊崎綾子さんが3月末日をもって退職されました。
- 高野一夫さんが3月末日をもって退職されました。ひきつづき継続雇用されています。
- 《職員》
- 安里仁美さんが10月1日育児休暇から復帰されました。

# 学んだこと



たくさんの華頂短期大学の  
実習生さんを昨年も受け入  
れました。その感想の一端  
を御披露します。

華頂短期大学 高橋照美

実習が始まるまでは、ずっと怖いというイメージを持っていました。でも、いざ実習が始まり一日目を終えてみると、思っていた事と全然違いました。入所者の皆さんは、とても愛嬌があり、職員の方々も優しく、毎日の実習が楽しみなっていました。障がい者に対する偏見も少しありましたが今では全くありません。本当に楽しく実習をさせてもらうことができ、あつという間の十二日間でした。とてもよい経験ができて良かったです。

華頂短期大学 門中沙樹

初日は不安ばかりで、入所者のみなさんが話しかけてくれてもビクビクしてはいてほとんど関わることができませんでした。でも、職員の先生方や入所者のみなさんがとても優しく話しかけてくれたり、いろんなことを教えてくれたおかげで不安もなくなり、とても楽しく実習ができました。たくさんの入所者の方と関わって、いろんなコミュニケーションのとり方を学べたし、素敵な笑顔の中で実習ができて良かったです。自分の考えや気持が大きく変わった実習でした。

華頂短期大学 谷口真耶

私は今まで障害のある方と関わる機会がなく、正直言うと障害に偏見を持っていました。だから実習が始まるまでは、恐くて不安でいっぱいでした。しかし、みなさんは初めから私たちを歓迎してくれ、気さくに話しかけてくれました。園生のみなさんや関わって行くうちに偏見はなくなり、毎日楽しくなりました。それぞれに良い所がたくさんあり、もつと長く一緒にいていろいろなることを知れたかったです。自分の中で考え方が変わり、とても良い経験になりました。

華頂短期大学 時武彩佳

私は、障がいを持つている方に対して、偏見がありました。また、今回の実習を通して、見方が変わりました。また、利用者の方々や、生活すること、偏見も消え、楽しく過ごすことができました。利用者の方と関わり信頼関係を築くことや、理解することとはとても大切だと感じました。実際に、利用者の方と関わりを持つことで、学ぶことや知れたことが多く、とても充実した実習でした。

華頂短期大学 吉田志乃

今回の実習で特に印象に残り、とても良い経験になったのが救命処置の大切さを学んだことでした。福祉の現場に立ち合う場面では最善の注意を払っていても多くの危険が入り込んでいます。自傷行為をされる方、他の方を傷つけるような行為をされる方、様々な事故が起こる可能性があります。対処が必要で、また、二次災害が起こらないように周りの利用者の方にも気を配る必要があることを学ばせていただきました。

華頂短期大学 藤田晃世

2週間ありがとうございました。初めの頃は驚くことや戸惑うことばかりで、園のみんなとなかなか仲良くなれなかつたけれど、日を追うごとに慣れて来て、みんなが笑顔で話しかけてくれたり、食事の時近くの席に呼んでくれることがとても嬉しかったです。そして毎日みんなに会うことがとても楽しみにしていました。短い間でしたが、みんなと過ごしてたくさんの思い出ができ、とても楽しく良い実習になりました。みんな、これからも元気に頑張ってください。

華頂短期大学 田村彩香

私は、今回の施設実習を通して、障害を持った方への見方が変わりました。最初は、利用者の方との関わり方に戸惑う事がありましたが、少しずつ関わる事が出来てきて、とても楽しい実習になりました。利用者の方とコミュニケーションを取り、信頼関係を築いていく事が大切だと思えました。信頼関係を築くためには、利用者の方を理解してあげなければいけないと思えました。今回の実習でたくさんの事を学ぶ事が出来ました。

華頂短期大学 山田真輝

私は、今回の実習で大きく変わったことは障がいを持つておられる方への見方です。初めは障がいを持つておられる方への偏見がありましたが、日々入所者の方と関わる中で、いつの間にか偏見はなくなり、楽しく実習させていたいただきました。また、信頼関係を築くことがすべての基盤となっていることがわかりました。たくさんの貴重な経験を、学んだことはとても多くあります。今回学んだことをしっかりと今後に生かしたいと思います。



### 貸借対照表

平成21年3月31日現在

その他の会計単位

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	102,382,407	流動負債	5,396,488
現金預金	57,361,558	未払金	4,489,647
未収入	44,972,849	預り金	906,841
仮払金	48,000		
固定資産	633,219,651	固定負債	83,300,238
基本財産	429,135,053	設備資金借入金	17,500,000
建物	323,084,634	退職給与引当金	65,800,238
建物附属設備	3,077,112	負債の部合計	88,696,726
建物附属設備	3,077,112		
土地	102,973,307		
その他の固定資産	204,084,598		
建物	35,485,393	基本金	270,646,055
建物附属設備	7,885,586	基本金	270,646,055
構築物	23,950,664	国庫補助金等特別積立金	189,891,979
機械及び装置	2,473,358	その他の積立金	92,000,000
車輛運搬具	3,642,714	移行時特別積立金	92,000,000
器具及び備品	5,123,688	次期繰越活動収支差額	94,367,298
権利	348,671	次期繰越活動収支差額	94,367,298
ソフトウエア	516,705	(うち当期活動収支差額)	8,572,878
退職共済預け金	32,265,219		
移行時特別積立預金	92,000,000		
長期前払費用	392,600		
資産の部合計	735,602,058	純資産の部合計	646,905,332
		負債及び純資産の部合計	735,602,058

〔脚注〕 1 減価償却費の累計額 353,817,824円

(注記) 1 重要な会計方針

(1) 退職給与引当金の計上基準

職員の退職に備えるため、財団法人京都府民間社会福祉施設職員共済会の退職金要支給額一覧表に基づき計上している。



### 資金収支計算書

(自) 平成20年4月1日 (至) 平成21年3月31日

その他の会計単位

勘定科目		決算
経常活動による収支	収入	
	利用料収入	264,723,886
	経常経費補助金収入	592,550
	寄附金収入	6,177,000
	雑収入	8,276,399
	借入金利息補助金収入	630,000
	受取利息配当金収入	420,287
	経常収入計(1)	280,820,122
	支出	
	人件費支出	195,385,340
事務費支出	15,250,888	
事業費支出	51,636,374	
借入金利息支出	630,000	
経理区分間繰入金支出	453,490	
経常支出計(2)	263,356,092	
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	17,464,030	
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等収入計(4)	0
	支出	
	固定資産取得支出	236,250
施設整備等支出計(5)	236,250	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-236,250	
財務活動による収支	収入	
	借入金元金償還補助金収入	2,500,000
	積立預金取崩収入	58,890
	その他の収入	1,852,298
	財務収入計(7)	4,411,188
支出		
借入金元金償還金支出	2,500,000	
その他の支出	3,421,998	
財務支出計(8)	5,921,998	
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-1,510,810	
予備費(10)		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	15,716,970	
前期末支払資金残高(12)	81,268,949	
当期末支払資金残高(11)+(12)	96,985,919	



### 事業活動収支計算書

(自) 平成20年4月1日 (至) 平成21年3月31日

その他の会計単位

勘定科目		本年度決算
事業活動収支の部	収入	
	利用料収入	264,723,886
	経常経費補助金収入	592,550
	寄附金収入	6,177,000
	雑収入	8,276,399
	借入金元金償還補助金収入	2,500,000
	引当金戻入	3,621,752
	国庫補助金等特別積立金取崩額	9,267,710
	事業活動収入計(1)	295,159,297
	支出	
人件費支出	195,385,340	
事務費支出	15,363,817	
事業費支出	51,636,374	
減価償却費	20,995,690	
引当金繰入	3,171,995	
事業活動支出計(2)	286,553,216	
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	8,606,081	
事業活動外収支の部	収入	
	借入金利息補助金収入	630,000
	受取利息配当金収入	420,287
	事業活動外収入計(4)	1,050,287
支出		
借入金利息支出	630,000	
経理区分間繰入金支出	453,490	
事業活動外支出計(5)	1,083,490	
事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	-33,203	
経常収支差額(7)=(3)+(6)	8,572,878	
特別収支の部	収入	
	特別収入計(8)	0
	支出	
	基本金組入金	0
固定資産売却損・処分損	0	
特別支出計(9)	0	
特別収支差額(10)=(8)-(9)	0	
当期活動収支差額(11)=(7)+(10)	8,572,878	
前期繰越活動収支差額(12)	85,794,420	
当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	94,367,298	
繰越活動収支差額の部	基本金取崩額(14)	0
	基本金組入額(15)	0
	その他の積立金取崩額(16)	0
	その他の積立金積立額(17)	0
	次期繰越活動収支差額(18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)	94,367,298



# 事務だより

二十一年三月一日～二十一年十一月三十日  
(敬称略)

【寄贈】 大槻栄子・田中実・誠武農園(株)白鳩・矢野世嗣・矢野辰雄・岡田孝・藤田進・陸整工業(株)・廣田晃二・竹内千鶴子(株)・玉岡商店(株)・水口組・山根久江・野村芳昭・京キユウ・吉岡勇治(有)・アクティブジャパン・山岡義信・万代男・臼井喜治・最上留美子・吉田庄治・矢野晴代・田上うめ子・コマキデンキ・桔梗屋・いととめEAT店

【金一封】 廣瀬梱包運輸(株)・(株)玉岡商店(株)・水口組・京都北都信用金庫大宮支店・上川静代・保護者会・吉岡勇治

【見学】 大宮中学校・桜梅会

## リサイクル作業



アルミ缶・銅線・ヘルマーフ古紙回収  
ご協力ください

平成二十一年三月一日～  
平成二十一年十一月三十日(敬称略)

安達電気、安達陽一、明田地区のみなさん、芦田梢恵、安達酒店、網野町観光協会、五十嵐屋商店、五十河地区の皆さん、池田勝信、生野電気、井丈商店、今西洋服店、井上五朗、稲岡靖子、芋野地区の皆さん、糸井泉、石河(有)、糸井初美、いととめ・EAT店、和泉登喜雄、和

泉秀雄、井野建設、井上義昭、今井好子、今井久男、梅田歯科医院、梅田辰行、梅田高志、梅田徳五郎、上田ひとみ、えびす電気工事店、エナジールランド大宮、エルクラブ・オオミヤ、岡島三協製作所、オギノ電機、荻野志功、尾江充洋、大江純一、大江仙治、大西勲、大河一夫、大木熙一、岡田喜美子、大宮南保育所、大宮第三小学校、奥田務、おしほり店田村、岡田福治、岡田嘉則、大江モータース、大西一子、金子産業(株)、柿本春恵、勝岡修、河島食料品店、川村義一、菊岡義和、木崎弥生、喫茶・お茶のみ友だち、京キユウ、楠田電気工業、口大野保育所(株)、興和、小牧英次郎、小池食料品店、河野哲朗、小笹ふさ子、小牧俊介、後藤鉄工所、小牧功、コマキデンキ、小牧義正、米トウ商店、小林秀樹、小西デンキ、サニーアイランド、山翠園、笹岡昭義、笹岡儀和、佐藤勝、柴原商店、下川源太、四方秀夫、しるくるーど、シラキ、白杉寅雄、獅子崎益二、尉ヶ畑の皆さん、城下克明、諏訪部英美子、諏訪部秀雄、末次電気商会、隅倉住建、大道菓子店、館保弘、大同宏子、大同政守、大同敏剛、高田清昭、田上住与、田崎書店、田中博久、谷口廣、谷口謙、谷次義則、玉木明司、田村ます美、壇野一義、丹後自動車整備工場、玉岡商店、丹後生糸、辻翔平・香奈、でんき館やました、豊田定夫、藤右衛門、富田圭介、トマトアンドオニオン、富田建築、中江美晴、長尾道夫、中川貞治、中川利昭、永島清一郎、永濱功、中村保徳、中村しんや、中尾文雄、永

井清志、新田良文、西田建設、橋本耕二朗、番場電気商会、服部仁、萩原誠、畑中商店、日達利雄、平井建材、平林かよ子、平林善一、平井電気、広野清孝、フルーツ王国やさか、フリーク、堀鉄工所、堀敏雄、堀保彦、堀廣吉、堀嘉長、ホリロク(株)、ベスト電気、増鍊工業(株)、まるぜん書店野田川店、丸善書店、丸中観光バス、松村武、松崎幹二、水口進、水口組、宮尾倍行、三浦艶子、三重地区の皆さん、峰山鉄工所、椋平登美江、森森俊、森岡伸行、森本地区の皆さん、山下初乃、山中信子、山本敏彦、山本京子、ヤマモト電化サービス、矢野一城、矢野宇一、矢野幸子、矢野辰雄、矢野博、由利徳七、由利家電サービス、吉田電気工業、義村商店、由村明人、横田悦子、吉岡設備(株)、吉岡電気商会、吉岡典子、吉沢地区の皆さん、吉岡商店、吉村食料品店、(株)ローソン

### 編集後記

或る朝目覚めて、気だるい気分を引きずりながら、煙草に手を伸ばしたけれど、上手く扱めない。これが自覚した脳梗塞の始まりでした。そして、その次に私のやったことが「そんなことはない！」キューブラー・ロスのいう否認でした。今は病氣と共存していますが、不都合が何かと多い世の中でありますが、共存共栄に努めてまいりたいと年の初めに願う次第です。最後に、昨年1年間の本紙の発刊が滞ったことをお詫び申し上げます。